

奴隸天使苗床改造 スライム公開出産



ずぶつ…ずぶつ…ずちつ…
「んぶつ…んぽつ…おあ…あ…」

ほあ、これはいい。

よくんぐままで
開発しましたな。

「どうよう？」

身じろぎさえ
できない状態で
魔物に全身の穴を
犯されながら、
それでも快楽に喘ぐ
元・天使の雌奴隷…。
アナルもまあ、よくんぐままで
ぽっかりと拡げて…。



「全身を性感帯に作り変えてやったんだ。それに常に媚薬を粘膜に塗り込んであげてる。」

元々乳も尻も

規格外の

デカさだったけど、

まだまだ

あつきく

なると

思うよ」

素晴らしい。

この丈夫そうな

身体なら、

壊れそうには

ありませんな。

「んんうっ、

むぐううっ、

……んもああん……うっ！」

あつと、どつぷりと精液が噴き出して……

しゅかり絶頂しながら受精したようです。



「もういつぱいになっちゃった。
いつもごぼしちやダメだうて
舐けてるんだけどなあ。
まあ、飲み込めない
くらい量の精液を
搾り取る雌穴なら
仕方ないか」

どろりと粘り気のある
濃厚な精液……

これはまたたくさん

孕めたこと

でしようなあ。

子が生まれるまでしばしこの

だらしない無様な様子を愉しみますか。

「はあ……あぐ……うう……うう……うう……うう……」



「ミルクも噴き出してきたし、そろそろかな。よく見てね、

僕のミルクドールちゃんが

スライムを

産みながら

いきまくる痴態を。

こんな目に遭ってるのに

ここままで

蕩けた顔と声で

アクメ

しちやうんだ」

「はああう……

い……やあ……う

みない、で、

見な……はっひひひっ

んああああんんう」

ああ！媚肉を

愉しめるだけじゃなくて、こんなに魔物を産んで

冥界に貢献してくれるとは……いやあ、賞賛に値する

立派な苗床肉奴隷ですなあ。



「んはあ……はあ……ひう……」

「んぐ、これで全部

産まれたかな？

産みながら何回

イッたんだい？

恥ずかしい淫らな

雌穴が

こもんなに

開いて

ぱくぱく

ひくひく

してるよ。

まだ

物足りないのかな。

大丈夫、

次の出産ショーの

あとは観客みんなに

抱いてもらうからね。

このスライムを啜えて。

ほら、媚薬にもなるから……♡」

「はぐう……！んむ、

んむうう……！」

ああ……あ……ひと……肉……
もう……何度目なの……
スライムに
飲み込まれて……
指一本動かせなけ
ようにされて……

カラダ全部の
穴を
不浄な
モノで
貫かれ……

ついに……は……
魔物まで
身籠らされ、
産まされる……
それを、こんなに
多くの魔物の目の前で
晒されるなんて……う

なのに……カラダが……いうことを……きかないの……う……
また……ああ……絶頂させられ……あああはあひん……う













